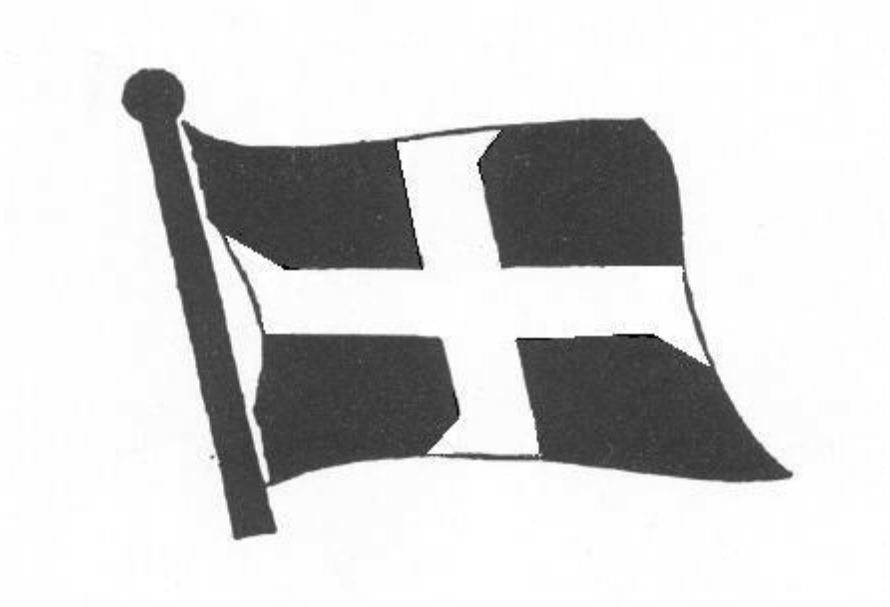
# 蒼穹NEWS

No.3

## 七大戦展望号

平成 30 年 7 月 22 日発行



～目次～


1　主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶
2　七大戦競技日程
3　七大戦展望
4　記録会等の結果(6/11~7/16)

# 1. 主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

## 主将挨拶

いよいよ七大戦が目前に迫って参りました。今年は 7 月 28、29 日に北海道の厚別公園陸上競技場にて開催されます。目標は男女総合優勝です。男子はエントリーランキングからすると 10 点差ほどで大阪大学を追い、その他の大学とは 30 点ほどの差をつけている状況にあります。しかし、七大学全てが全力を尽くしてくるこの大会では、良くも悪くもランキングはいくらでも覆ります。伊勢予選が終わってから僕たちは七大戦で総合優勝を果たすために練習を積み重ねて参りました。ランキング上位に位置する大阪大学をとらえることはもちろんですが、下剋上を狙う他の五大学も圧倒し、必ずや七大学最強の座を手にします。

そのためには選手が 100%のパフォーマンスを発揮することに加え、応援やサポートに回る選手がそれを後押しし、チーム全体が総合優勝に向けて行動しなければなりません。その原動力となるのは勝ちたいという想いです。対校戦で勝つのは想いの強いチームです。

男女合わせて、京大が七大戦で総合優勝を勝ち取ったのは我々が 1 回生のとき以来ありません。現在我々4 回生が七大戦で総合優勝することの喜びを知る唯一の代です。だからこそ 4 回生の勝ちたいという想いは誰よりも強いです。今の京大の総合優勝に懸ける想いは他のどの大学よりも強いです。当日、接戦が予想されますが、その激戦を制するためにも、熱い想いを胸に、チーム一丸となって今までの練習の成果を思う存分発揮しようと思います。

当日は猛暑が予想されますが、蒼穹会の皆様にはぜひとも遠方ではありますが北海道まで足を運んでいただき、いつもと変わらぬ熱きご声援のほど よろしくお願い致します。

京都大学陸上競技部主将　　安藤　滉一

## 女子主将挨拶

昨年の七大戦は優勝を目指して戦いましたが、あと一歩力が及ばない種目が多く、4 位という悔しい結果となりました。また関西インカレでは女子総合 12 位相当という目標を掲げて挑むも、関西上位校との力の差を痛感させられる結果となってしまいました。今年の七大戦こそは優勝し、その悔しさを晴らすべく、部員一同この 1 年そして関西インカレからの日々、練習を積んでまいりました。

本年は、ランキング上では東北大がかなりの実力を持っており、苦戦を強いられることが予想されます。しかし京大としても、4 回生を中心に優勝や大量得点を見込める選手が多くおり、また下回生も着実に力をつけてきています。各々が持てる力を存分に発揮し、

チャンスを逃さず一点一点積み重ねていけば、必ずや総合優勝に手が届くと信じております。

今回は遠方北海道での開催となりますが、いつも応援にお越しいただいている蒼穹会の皆様はもちろんのこと、女子部卒の蒼穹会の皆様にもお越しいただけると幸いです。激励、ご声援のほど、よろしくお願い致します。

京都大学陸上競技部女子主将　　横山　優花

## 監督挨拶

7 月 28 日、29 日に厚別陸上競技場にて北海道大学主管のもと、七大戦が行われます。今回の目標は男女総合優勝です。 男子は、大阪大学を打倒し他大にも負けないことが必要となってきます。それを成すためにはチームの結束や勢いが必要不可欠であり、上回生がどれだけこの七大戦のためにチームを作ってこられたかが問われます。今回も多種目出場する主将の安藤(4)や副将の高野圭(4)中山(4)らチームを引っ張ってきたメンバーや、小谷(3)木村(2)など若い選手たちが力を合わせて得点していけば間違いなく優勝できます。

女子は、年々レベルが上がる中、今年は東北大学をどれだけひきずり下ろせるかが勝負になってきます。その中で、横山(4)林(4)らのトップ選手だけでなく、得点の当落線上にいる選手の頑張りが鍵となるでしょう。4 点制の中で 1 点を大事に積み重ねていけば、優勝を引き寄せられるはずです。

蒼穹会の皆様方、今年も暑い中での熱戦が予想されますが、ぜひとも会場までお越しいただき選手たちへの応援をお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部監督　　紀平　直人

## 2. 七大戦競技日程

７／２８(土)　オープンの部（1500m、男 4×100mR、5000mW、三段跳、ハンマー投は対校）　厚別競技場

７／２９(日)　対校の部　厚別競技場

| 第1日目　7/28(土) | | | | |
|---|---|---|---|---|
| トラック競技 | | | | |
| 時間 | 種別 | 種目 | | 組数 |
| 9:00 | OP | 男女 | 5000m | 5 |
| 11:05 | | 女 | 400m | 1 |
| 11:10 | | 男 | 400m | 10 |
| 11:45 | | 女 | 1500m | 2 |
| 12:00 | | 男 | 1500m | 9 |
| 12:55 | | 女 | 100m | 3 |
| 13:05 | | 男 | 100m | 23 |
| 13:55 | | 女 | 4×400mR | 1 |
| 14:05 | | 男 | 4×400mR | 3 |
| 14:40 | 開会式 | | | |
| 15:45 | 決 | 男 | 1500m | 1 |
| 16:00 | 決＋OP | 男女 | 5000mW | 1 |
| 16:40 | 決 | 男 | 4×100mR | 1 |
| 跳躍競技 | | | | |
| 9:40 | OP | 男 | 走幅跳A | 20人 |
| 9:40 | | 男 | 走幅跳B | 21人 |
| 13:00 | | 男 | 棒高跳 | 10人 |
| 13:00 | | 女 | 走幅跳 | 8人 |
| 15:10 | 決 | 男 | 三段跳 | 20人 |
| 投擲競技 | | | | |
| 10:00 | OP | 男 | やり投 | 17人 |
| 12:30 | | 女 | やり投 | 5人 |
| 15:10 | 決 | 男 | ハンマー投 | 15人 |

| 第2日目　7/29(日) | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| トラック競技 | | | | | |
| 時間 | 種別 | 種目 | | 人数 | 組-着＋α |
| 9:00 | 予 | 女 | 400m | 13 | 2-3+2 |
| 9:10 | 予 | 男 | 400m | 21 | 3-2+2 |
| 9:30 | 予 | 男 | 400mH | 18 | 3-2+2 |
| 9:50 | 予 | 男 | 800m | 21 | 3-2+2 |
| 10:15 | 予 | 女 | 100m | 14 | 2-3+2 |
| 10:25 | 予 | 男 | 100m | 21 | 3-2+2 |
| 10:40 | 決 | 男 | 3000mSC | 21 | |
| 11:05 | 決 | 女 | 400m | 8 | |
| 11:15 | 決 | 男 | 400m | 21 | |
| 11:30 | 決 | 男 | 400mH | 8 | |
| 11:55 | 決 | 女 | 100m | 8 | |
| 12:05 | 決 | 男 | 100m | 8 | |
| 12:20 | 決 | 女 | 800m | 13 | |
| 12:30 | 決 | 男 | 800m | 8 | |
| 12:40 | 予 | 男 | 110mH | 18 | 3-2+2 |
| 13:00 | 予 | 男 | 200m | 21 | 3-2+2 |
| 13:20 | 決 | 女 | 3000m | 13 | |
| 13:50 | 決 | 男 | 110mH | 8 | |
| 14:05 | 決 | 男 | 200m | 8 | |
| 14:15 | 決 | 男 | 5000m | 21 | |
| 14:40 | 決 | 女 | 4×100mR | 7 | |
| 14:55 | 決 | 男 | 4×400mR | 7 | |
| 跳躍競技 | | | | | |
| 9:00 | 決 | 女 | 走幅跳 | 10 | |
| 9:00 | | 男 | 走高跳 | 17 | |
| 10:00 | | 男 | 棒高跳 | 17 | |
| 12:00 | | 男 | 走幅跳 | 21 | |
| 13:00 | | 女 | 走高跳 | 11 | |
| 投擲競技 | | | | | |
| 9:00 | 決 | 男 | やり投 | 17 | |
| 9:00 | | 女 | 砲丸投 | 9 | |
| 11:00 | | 男 | 砲丸投 | 19 | |
| 13:00 | | 男 | 円盤投 | 18 | |

## 3. 七大戦展望

### ＜短距離＞

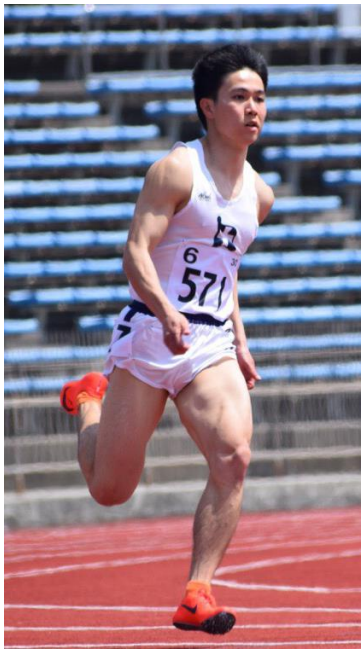
100m

安藤　滉一　(4)　10.76

小野　貴裕　(3)　11.00

加藤　寿昂　(2)　10.94

男子 100m には安藤(4)、小野(3)、加藤(2)が出場する。まず安藤は怪我もあって思うように練習が積めておらず不安が残るが、主将として臨む七大戦であるので意地でも間に合わせてほしい。小野はポテンシャルのある選手であり練習でもそれなりのタイムを出しているが、今シーズンは中々試合で結果を残せていない。重圧のかかる舞台ではあるが自己記録を更新して決勝進出を狙ってほしいところ。加藤は先日の地元での試合で自己新を出して勢いのある選手である。勢いそのままにしっかり予選を通過すること、その先の決勝で得点に絡むことが期待できる。



主将として期待のかかる安藤(4)

200m

安藤　滉一　(4)　21.59

岡本　和也　(4)　22.68

神先　宏樹　(4)　22.58

男子 200m には安藤(4)、神先(4)、岡本(4)が出場する。安藤は 4×100mR と 100m 後のレースとなる。持ち前のタフさを生かして走り切ってほしい。神先は長い間怪我で走れなかったが、最近では短長選手ではあるものの持ち前のスピードに磨きをかけてくれた。決勝進出にはおそらく 22 秒前後のタイムが必要となるが、それを期待させるようなタイムを練習でも出しているので決勝に進みたいところ。岡本も神先と同じく決勝進出を期待させるタイムを練習でも出しており、調子は良い。伸び悩む時期もあったがチーフとして臨む七大戦であるので意地を見せたいところ。200m は 4 回生 3 人で臨むことになったが、この 1 年間の集大成として全員で決勝で勝負してきたい。

400m

小原　幹太　(3)　49.15

小谷　哲　　(3)　48.10

浅井　良　　(2)　48.23

男子 400m には小谷(3)、小原(3)、浅井(2)の 3 名が出場する。小谷、浅井はランキング 1 位、2 位であり 2 人で表彰台の 2 つを埋めてほしい。おそらく上位 3 位には阪大の志賀が入ってくることが予想される。しかし、最近の調子を見る限り決して万全とは言えないので確実に勝ちたい。小原については関カレ後に少し調子を崩していたが、復調の兆しが見え始めた。しっかりと決勝に残り得点してきてほしい。

110mH

福島　　理　(4)　15.34

小野　貴裕　(3)　15.05

吉川　広祐　(3)　15.49

男子 110mH には福島(4)、小野(3)、吉川(3)が出場する。資格記録をみるとランキングトップは名大真野の 14.34 で抜けており、次に東大馬上の 14.50、そして小野の 15.03 と続き、その後ろは 15.2 から 15.4 付近で混戦となっている。福島は予選 3 組で真野と同じ組ではあるが、今シーズン通して調子を上げているため確実に 2 着で決勝に進んだ上で上位に食い込みたい。小野は昨年の七大戦で PB を更新しており、今年は記録こそコンディションに恵まれず振るわないが西日本インカレなど昨年より良い形で七大戦に臨む。落ち着いて予選を通過し決勝での勝負に徹して欲しい。吉川は春先の記録会で出した PB を直近の県選手権でさらに更新しており勢いに乗っている。予選同じ組の東大の 1 回生馬上は完全に未知数だが着順で通過する事は十分に可能のため、良い感覚をそのままに決勝での走りに期待したい。

400mH

五十嵐　隆皓　(4)　55.22

平田　泰行　　(4)　55.00

長谷川　隼　　(2)　55.06

男子 400mH には、五十嵐(4)、平田(4)、長谷川(2)が出場する。この種目の得点ラインは資格記録では 54.51、決勝ラインは 54.91 となっている。五十嵐は 4 月に PB を出して以来安定して 300mH でも記録を出せており、予選では得点ライン上の選手が外側に 2 人いるためそれを利用してレースを進めれば決勝進出は堅いだろう。平田が出場する予選 1 組では持ち記録 2 番手が阪大小西の 53.67 であり、着順での決勝進出は些か高い壁ではあるが、もし着順で進めずとも得点のチャンスは十分あるため落ち着いてレースを進めて中盤以降を上手く走れば上位に食い込むだろう。長谷川の出場する予選 2 組には 49.5 のベストを持つ名大真野が内側にいるが、今シーズン長谷川は前半のスピードが付いているため、真野に追いつかれても焦らず 2 着に入り、決勝で得点に絡む積極的なレースを期待したい。

4×100mR

岡本　和也　(4)

小野　貴裕　(3)

田中　大智　(3)

加藤　寿昂　(2)

梶原　隆真　(2)

田中　大智　(1)

藤田　雄大　(1)

走順は小野(3)-加藤(2)-岡本(4)-安藤(4)を予定している。例年と異なり 1 日目に種目が移動した。1 日目の対校種目の結果は 2 日目の勢いを大きく左右する。大きなタイム差はなく僅差であるので勝ち切ることが大切となる。リレーはチーム力の象徴でもあり総合優勝への流れを作るためにも必ず勝ちたいところ。

4×400mR

田中　達也　(4)

小原　幹太　(3)

小谷　哲　　(3)

田中　智也　(3)

水野　廉也　(3)

浅井　良　　(2)

マイルのメンバーは小谷(3)-水野(3)-小原(3)-浅井(2)の予定。ただし 400m の結果次第で変える可能性がある。400m が 3 本目となる選手が多く層が厚い阪大にどこまでくらいつけるかで優勝できるか

変わってくる。メンバーだけでなく全員で戦い抜く覚悟を持って挑む。

女子 100m

小野　萌子　(4)　13.03

花房　柚衣香(2)　13.59

女子 100m には小野(4)と花房(2)が出場する。まず小野は去年の七大戦で自己新を出す快走をしたものの得点には絡めず悔しい思いをした。今年は春先に 200m で自己新を出すなど勢いがあるので、最後となる七大戦での得点に期待したい。花房は去年はオープンでの参加であったので対校の部に出場するのは今年が初めてとなる。得点圏からは少し離れてはいるが、1 つでも上の順位を貪欲に狙っていってほしい。チームに勢いをもたらすような熱い走りに期待したい。

女子 400m

小野　萌子　(4)　59.92

後藤　加奈　(3)　1.00.43

女子 400m には小野(4)と後藤(3)が出場する。ランキング的には 5 位と 7 位であるが女子総合優勝のためにも表彰台を目指したいところ。小野は 100m にも出場するためしんどい試合にはなるが自分の持っている力を存分に発揮し、最後の七大で思いきり暴れてきてほしい。後藤も次期女子主将としてここで 60 秒を切り壁を 1 つ乗り越えてほしい。

女子 4×100mR

小野　萌子　(4)

林　玲美　(4)

後藤　加奈　(3)

中野　水貴　(2)

花房　柚衣香　(2)

奥村　夏子　(1)

走順は花房(2)-小野(4)-後藤(3)-中野(2)を予定しているが、オープンの結果等を考慮して入れ替える可能性もある。資格記録では阪大と東北大は抜けており以下は僅差なので表彰台を狙ってきてほしい。人数が少ない中ではあるが、バトンワークに磨きをかけてきた。女子の最終種目となるので最後の最後まで諦めない粘りの走りを期待する。

## ＜中距離＞

800m

田中　達也　(4)　1.57.37

土屋　維智彦　(3)　1.54.10

木村　佑　(2)　1.52.88

男子 800m には田中(4)、土屋(3)、木村(2)が出場する。中距離パートチーフとして向かえる田中は初の七大戦本戦の出場を果たした。今シーズンスピード強化に努めており、その強みを活かせば決勝進出も見えてくるだろう。自己記録では得点ラインからは少し離れているが、4 回生としての意地をみせたい。自身 3 度目の出場となる土屋は昨シーズンから安定した走りをみせている。怪我の影響で思うように練習を積めないことも多いが、その中でも工夫を重ね実力を維持してきており、2 年連続の得点が期待される。木村は今シーズンかなりの成長を見せている。関西インカレでは惜しくも決勝進出を逃したが、ブレイクスルーを予感させる走りであった。今大会で実力をフルに発揮させ、昨年度のインハイチャンピオン高橋(北大 1)などを倒し、優勝を狙う。

優勝の期待がかかる木村(2)

1500m

小柴　鷹介　(4)　4.05.80

木村　佑　　(2)　3.56.46

清原　陸　　(2)　3.56.66

男子 1500m に小柴(4)、木村(2)、清原(2)が出場する。男子 1500m は北大の酒井(3)、高橋(1)、東大の近藤(4)が強く、少し実力が抜けているだろう。木村、清原はそこにどう挑むかというところに注目が集まる。木村は 800m、清原は 5000m を兼ねるが、今年は 1500m が 1 日目に移ったことで 2 日間に分けられるため、思い切ったレースが期待される。小柴は専門は長距離であるが、持ち前のスピードを活かし 1500m に出場となる。得点を見据えた走りができれば、自ずと自己ベストも見えてくるだろう。最後の七大戦で熱いレースを期待する。

女子 800m

安藤　百香　(2)　2.30.41

西川　真悠　(1)　2.21.64

女子 800m には安藤(2)、西川(1)が出場する。この種目は東大の高石(4)を筆頭にハイレベルなレースが予想される。安藤は得点ラインからは少し遠いが、こういう選手からしっかり得点を狙いにいくことが女子の総合優勝につながるだろう。最後まで粘り強い走りを期待したい。西川は 1 回生ながらこの種目のエースとしての活躍が期待される。順調に調子も上げており、自己ベストを更新する走りができれば得点も難しくない。1 点でも得点をしてチームの追い風となりたい。

## ＜長距離＞

5000m

原田　麟太郎　(3)　15.09.18

清原　陸　　(2)　15.19.59

久田　雅人　　(2)　15.11.70

男子 5000m には原田(3)、清原(2)、久田(2)が出場する。原田、久田は 6 位入賞を目指すレベルで練習してきた。直近の試合では頼りない部分も見られたが、その後持ち直してきた。また、清原は 1500m との兼任ではあるが、その実力は折り紙付きである。3 人ともランキング外ではあるが、現状京大で最も得点が期待できる 3 名に 1 点でも多くもぎ取ってきてもらいたい。

3000mSC

渡邊　康介　(4)　9.47.17

潮崎　羽　　(3)　10.27.14

足立　舜　　(1)　9.22.00

男子 3000m障害には渡邊(4)、潮崎(3)、足立(1)が出場する。渡邊は春先苦しんだが、ここにきて調子を上げており、先日のレースでは得点を期待できる攻めの走りが見られた。潮崎も直近の記録会で自己ベストを更新、また阪大の選手に競り勝つなど、気持ちの強さが見られる。障害にまだ課題があるため、克服して入賞ラインを目

指してほしい。足立は少し故障が長引いているが、出場するとなれば１点でも多く得点を期待したい。まだ１回生ではあるが、高校の時から大舞台で活躍してきた選手で、そのようなプレッシャーには強いと思うので、存分に走ってきてほしい。

5000mW

高野　圭太　(4)　20.34.80

亀田　孝太郎(3)　21.30.01

馬淵　丈　　(1)　24.56.16

男子 5000mW には髙野圭(4)，亀田(3)，馬淵(1)が出場する。七大学のレベルが上がってきていることもあり，例年のように簡単には点数を取らせてもらえないことは明らかである。その中で，髙野，亀田は 7～8 人になるだろうと思われる先頭集団のなかでうまくレースを進め，終盤に勝負を仕掛けていきたい。馬淵は先頭についていくことは厳しいように思われるが，自分のペースでレースを進め，着実に目の前の相手に競り勝つというレースを期待する。競歩パートとしてこの種目で大量得点を取り，チームに勢いをもたらすことを目標とする。

副将の高野圭(4)

女子 3000m

高木　穂乃香　(1)　11.12.80

藤本　涼　　(1)　11.14.96

女子 3000m には藤本(1)が出場する。高木(1)は怪我と体調不良により出場しない。また補欠の鶴崎(1)はまだ 3000m を走る走力が足りないため正補交代は行わない。1 回生での出場ということでトップグループとの実力差も大きく、格上相手との勝負になるだろう。得点に絡めなかったとしても、総合優勝にはチームを勢いづける熱い走りが必要である。最後まで諦めない姿勢を見せてほしい。

## ＜跳躍＞

走幅跳

本居　和弘　(3)　6m93

南井　航太　(3)　6m62

仲村　快太　(1)　記録なし

本居(3)、南井(3)、仲村(1)の 3 人で挑む。各大学 4 回生のレベルが高く、今年も 7m ではトップ 8 進出には足りないだろう。本居は跳躍選手の中でもコツコツと練習を積み上げ力を養ってきた。少しずつではありながら自己ベストも更新している。本番に強い彼にはトップ 8 に割って入ってもらいたい。南井、仲村は本居に少しでも近づけるような結果を残して欲しい。オープンに出る選手に負けないよう頑張ってもらいたい。

三段跳

伊東　悠希　(4)　14m53

三神　惇志　(3)　15m08

岩井　響平　(1)　13m16

伊東(4)、三神(3)、岩井(1)が出場する。この種目は上位 8 人の実力がやや抜けている。中でも 5 人が 15m ジャンパーと

いうことで順位の入れ替わりが激しくなることも予想される。伊東と三神はそれぞれ足、腰に不安を抱えながら今シーズンを過ごしてきた。関西インカレの時の雪辱を晴らし、2 人で 7、8 点は獲得したい。岩井は普段の練習においても失敗跳躍が非常に少ない。練習どおりのことができれば、13m 後半も容易だろう。

走高跳

坂口　裕飛　(1)　2m06

今大会の男子跳躍種目は過去最高レベルと言っても過言ではない。優勝レベルの記録を持つ選手が各種目複数人おり、見応えある試合が期待される。走高跳には阪口(1)が出場する。阪大 2 選手が上位にいることから、阪口の結果が対校順位に大きな影響を与えるであろう。先日の京都選手権ではもう少しで 2m08 をクリアできるところまで調子を上げてきた。当日 2m08 の設定があるかは定かではないが、自己ベスト更新が楽しみである。

期待のルーキー坂口(1)

棒高跳

平島　敬也　(3)　4m20

増尾　浩旗　(2)　4m00

黒川　泰暉　(1)　3m80

平島(3)、増尾(2)、黒川(1)がエントリーしている。東大の三宅、東北の高橋が抜けている他は混戦模様。平島は表彰台も狙えるとこにあり、滋賀県選手権で 4m を超えた増尾、中学以来の棒高跳でありながら早くも PB をマークした黒川にも得点のチャンスは大いにある。若手揃いの 3 人が全員で得点できる可能性を持つ棒高跳は、京大チーム全体で見ても注目の種目である。長丁場の試合だが、集中力を切らすことなく戦い抜いて欲しい。

女子走高跳

林　　玲美　(4)　1m66

花房　柚衣香(2)　1m20

林(4)、花房(2)の 2 人が出場する。4 連覇のかかる林は、今シーズン 1m67 をマークしている東北の中村が最大のライバルとなる。また阪大の福田も侮れない。低い高さでの失敗は許されないだろう。花房は来年以降を見据えた出場となる。本職のトラック種目もあって大変ではあるかもしれないが、中途半端な結果で終わらないようにして欲しい。

## ＜投擲＞

砲丸投

平島　敬也　(3)　9m55

松井　そら　(3)　10m40

藤田　歩　　(2)　8m01

男子砲丸投には平島(3)、松井(3)、藤田(2)が出場する。松井は現状 12 位で 8 位入賞の可能性は十分にある。今の自己ベストは肉離れを起こしながらのものであ

るので、11m スローが鮮明に見えている選手である。3 投目までに 11m を投げられればエイトに残れると予想されるので、まずはエイトに残り、そこから得点争いに絡んでいきたい。藤田は砲丸投経験浅い選手であるが、コツコツと練習を積んできた。平島に勝つと意気込んでいるので、平島との勝負に注目である。これから先も砲丸投に出場していくことになると思うので、次に繋がる試合にして欲しい。

円盤投

大橋　悟　　(3)　43m97

平島　敬也　(3)　33m71

松井　そら　(3)　30m12

円盤投には大橋(3)、平島(3)、松井(3)が出場する。大橋は全日本インカレ B 標準の 47m を目標にしていたが、手首の故障により練習があまり積めなかった。東北大に 40m オーバーの選手がいるが、今の状態の大橋でも彼は敵ではないと思うので、しっかり優勝してきて欲しい。周りは気にせず、堂々と、自分の試合をしてきて欲しい。平島は現状 11 位であるが、3 位から平島までの差は 2m 以内に収まっている。30m 以上投げる安定感はあるので、早いうちにエイト進出を決め、そこから得点争いに絡んでいって欲しい。松井は現状 13 位で、松井も平島と同じく得点争いに絡んでいって欲しい。松井は物を遠くに飛ばす良い能力を持っているが、自己ベストの 30m という記録を見ると、まだまだ力を出しきれていない。そのためこの七大戦で持っている力を発揮して、大投擲を見せて欲しい。平島と松井にはなんとか 1 点をもぎ取ってきて欲しい。

ハンマー投

大橋　悟　　(3)　44m98

三谷　圭　　(3)　43m88

藤井　歩　　(2)　31m11

ハンマー投げには大橋(3)、三谷(3)、藤田(2)が出場する。事前ランキングでは大橋が 1 位、三谷が 2 位、そしてすぐ下に阪大の選手が迫っている。大橋も三谷も優勝しか見ていないので、阪大の選手を置き去りにして 2 人で熱い戦いを見せて欲しい。共に切磋琢磨して強くなってきた 2 人の戦いに期待である。藤田はこの七大戦で得点を取ることを目標に日々練習を積んできた。投げ込みによってかなり成長してきたので、この七大戦でその成果を発揮し、目標を達成して得点してきて欲しい。藤田が 1 点を掴み取れば、京大に流れが来るだろう。

やり投

中山　奎吾　(4)　60m81

松井　そら　(3)　49m17

澤田　剛　　(2)　56m20

やり投げには中山(4)、松井(3)、澤田(2)が出場する。中山は現状 1 位であるが、年明けからの怪我により投擲練習を積まないままでの出場となる。なんとか 3 位を掴み取って澤田と表彰台に登りたい。松井は現状 10 位であるが、安定感から見ておそらく 8 位入賞はできるであろう。円盤と同じくまだ持っている力を発揮できていないので、この七大戦で殻を破って欲しい。おそらく 55m は投げられるであろう。澤田は 60m オーバーでの優勝を目標にしている。練習では 61m の投擲もみせているので、試合に強い澤田であれば目標達成の可能性は高い。中山が保持する蒼穹記録の更新にも期待がかかる。

女子砲丸投

横山　優花　(4)　10m66

中野　水貴　(2)　10m01

女子砲丸投げには横山(4)、中野(3)が出

場する。横山は大会新での優勝を目標に戦う。直前の大体大競技会ではファールながらも 11m オーバーの投擲があったので、順調に仕上がってきていることだろう。東北大の 1 回生に強い選手がいるが、その選手にしっかり勝って、女子主将としても京大にいい流れをもたらしたい。中野は表彰台を目標にしている。中野の自己ベストと同等の 10m 前後の選手が複数いるが、そこにしっかり勝ちきってなんとか 3 位を掴み取りたい。肘の不安もようやく無くなったとのことなので、思い切り振り切って大投擲を見せて欲しい。

女子主将の横山(4)

# 4. 記録会等の結果

（2018/6/11～2018/7/16）

**2018日本学生陸上競技個人選手権**
**(Shonan BMW スタジアム平塚**
**6/15~17)**

**男子**

▼5000m

柴田　裕平　　ﾀ決　14.45.97

▼10000mW

高野　圭太　　決　43.25.45

**女子**

▼10000mW

高野　寛子　　決　50.43.74

**第64回岡山県陸上競技選手権大会(岡山県陸上競技場　6/22~24)**

▼110mH

黒瀬　慶　　16.12　-1.3

**平成30年度岐阜県陸上競技選手権大会**
**(岐阜メモリアルセンター**
**6/23,6/30,7/1)**

▼100m

加藤　寿昂　予　11.21　-0.7
　　準決　11.26　-1.6
岡本　和也　予　11.35　-1.4
田中　大智　予　11.52　-2.8　大学初
藤田　雄大　予　11.64　-1.4
松本　佳太　予　11.97　-2.8　UB

▼200m

西脇　友哉　予　22.97　+1.0

▼3000mSC

渡邊　康介　　9.56.88

**秩父宮賜杯第71回西日本学生陸上競技対校選手権大会(広島広域公園　6/29~7/1)**

**男子**

▼400m

浅井　良　　ﾀ決　49.31
小谷　哲　　ﾀ決　49.57
小原　幹太　ﾀ決　53.20

▼800m

木村　佑　　予　1.54.88
　　ﾀ決8位　1.54.62
田中　達也　予　1.59.90
中尾　友哉　予　2.01.45　大学初

▼5000m

柴田　裕平　ﾀ決　15.55.28

▼110mH

小野　貴裕　ﾀ決　15.01　+3.0

▼400mH

平田　泰行　予　56.49

▼4×400mR

小谷-水野-
　小原-浅井　ﾀ決　3.18.11

▼走高跳

坂口　裕飛　決　1.95

▼円盤投

大橋　悟　決　42.99

**女子**

▼400m

後藤　加奈　ﾀ予　61.13

▼800m

岸本　絵理　予　2.29.29
上島ほのか　予　2.30.45

▼1500m

上島ほのか　予　4.56.57　PB
岸本　絵理　予　5.01.95

▼100mH

花房　柚衣香　　ﾀ決　　17.04　+3.2
▼4×100mR
花房-小野-
　後藤-林　　予　　52.76
▼4×400mR
小野-後藤-
　岸本-花房　　ﾀ決　　4.19.69
▼走高跳
林　玲美　　決　　1.60
▼三段跳
広川　知佳　　決　　11.06　+1.9
▼円盤投
横山　優花　　決　　33.88

平成30年度群馬県陸上競技選手権大会(敷島　6/30,7/1)
▼400ｍH
五十嵐隆皓　　予　　55.87
　　決7位　55.99

平成30年度第89回栃木県陸上競技選手権大会(佐野　6/29~7/1)
▼400mH
平野　亘　　予　　56.54
　　決5位　57.27

平成30年度第4回東京学芸大学ナイター競技会(東京学芸大学　6/30)
▼10000mW
高野　寛子　　54.24.10

第72回茨城県陸上競技選手権大会(笠松運動公園　7/6,7,8)
▼5000mW
高野　圭太　　決2位　21.37.44

第85回大阪陸上競技選手権大会(ヤンマースタジアム長居・ヤンマーフィールド長居　7/6,7,8)
男子
▼400m
紀平　直人　　予　　48.68
　　準　　48.48
　　決4位　48.03
▼800m
川井　景太　　予　　2.00.45
岡本　郁翔　　予　　2.07.21
▼1500m
清原　陸　　予　　3.57.82
　　決3位　3.57.16
▼110mH
永田　智季　　予　　15.71 +0.2
▼400mH
平田　泰行　　予　　56.49
女子
▼1500m
岸本　絵理　　予　　4.59.28
▼走高跳
林　　玲美　　決2位　1.65
男子オープンの部
▼400m
小原　幹太　　OP　　50.29
▼5000m
久田　雅人　　OP　　16.49.83
▼400mH
長谷川　隼　　OP　　55.35

第66回首都大学東京大阪府立大学総合定期戦(金岡　7/7)
OP の部
男子
▼100m

梶原　隆真　OP　11.61　-0.1
湯谷　樹生　OP　11.80　-0.5
大学初
野田　真志　OP　11.91　-0.2
大学初
永田　智季　OP　12.08　-0.2
大学初
▼200m
神先　宏樹　OP　22.58　+0.5 PB
岡本　和也　OP　22.76　-0.4
清水　利宇　OP　DNF　±0.0
▼800m
飯田　駿介　OP　2.14.88
▼1500m
宇佐美岳良　OP　4.20.74
鶴見　薫樹　OP　4.27.97大学初
▼5000m
原田麟太郎　OP　15.36.58
▼走幅跳
南井　航太　OP　6.44　+0.7
村田　憧哉　OP　6.37　-0.2
大学初
岩井　響平　OP　5.71　-0.2
大学初
横山　寛樹　OP　4.32　-0.1
▼三段跳
岩井　響平　OP　13.16　+0.7
PB 大学初
柳原　拓海　OP　12.54　+0.7
大学初

女子
▼砲丸投
福井　優輝　OP　8.59

第76回滋賀県陸上競技選手権大会(皇子山　7/7,8)

男子
▼100m
小野　貴裕　予　11.13　+1.2
珍坂　涼太　予　11.46　+0.4
▼200m
数多　伸紀　予　23.52　±0.0
大学初
▼400m
田中　智也　予　51.04
準　50.95
前田　朝陽　予　53.28　大学初
▼5000m
川井　拓哉　決　15.47.01
▼110mH
福島　理　予　15.77　-0.7
決6位　15.34　+0.7
▼400mH
酒井　良佑　予　62.72　大学初
▼5000mW
馬淵　丈　決　24.56.16
大学初
▼棒高跳
黒川　泰暉　決　3.80　大学初
PB
▼ハンマー投
三谷　圭　決　40.45
藤田　歩　決　30.23
▼やり投
浅野　智司　決7位　56.70
▼十種競技
増尾　浩旗　決4位　5449　PB
11.67(+0.5) 5.98(+0.7) 7.70 1.65 53.64
16.89(+0.5) 25.28 4.00 40.34 4.58.16
松井　そら　DNF
11.77(+0.5) 6.30(0.0) 10.40 DNF
以後 DNF

女子
▼100m
奥村　夏子　　予　　14.10　+1.1
▼100mH
花房柚衣香　　予　　17.90　+0.6

第80回三重県陸上競技選手権大会(伊勢 7/7,8)
男子
▼5000m
稲垣　達也　　決　　15.40.28
▼3000mSC
稲垣　達也　　決5位　9.48.14
▼走幅跳
仲村　快太　　決　　NM　±0.0

第73回新潟県陸上競技選手権大会(長岡市陸上競技場　6/23,7/14~26)
▼走幅跳
広川　知佳　　決　　5.14　+1.4

第3回大阪体育大学中長距離競技会(浪商学園陸上競技場　7/14)
男子
▼800m
木村　佑　　1.52.69　CB
▼3000m
泉　峻哉　　9.20.43　自身初
清水　厚佑　　9.22.49　大学初
清水　秀広　　9.28.05　PB
木野村隆宏　　9.41.49　PB　大学初
津吉　順平　　9.55.39　自身初
▼5000m
大前　晃一　　15.57.94
谷川　尚希　　15.57.94
鈴木洋太郎　　16.12.23　大学初
▼3000mSC
潮崎　羽　　10.05.93　PB
平中　章貴　　10.29.00　CB
女子
▼3000m
藤本　涼　　12.07.56　大学初

平成30年度第3回大阪体育大学競技会(大体大　7/14)
男子
▼100m
湯谷　樹生　　11.47　+0.5　CB
▼300m
飯田　駿介　　43.67　　自身初
▼110mH
黒瀬　慶　　16.01　+2.0
女子
▼砲丸投
横山　優花　　10.37
中野　水貴　　9.44
福井　優輝　　8.77

第59回富山県陸上競技選手権大会(富山県総合運動公園　7/14,15)
男子
▼110mH
吉川　広祐　　予　　15.15　+2.2
　　決4位　15.17　+0.9
　　PB
女子
▼100m
菅野　紗希　　予　　13.48　+0.3

第77回愛知陸上競技選手権大会(瑞穂 7/14,15)
▼ハンマー投

若園　直樹　　決　　50.26

**第71回京都陸上競技選手権大会(西京極 7/14,15)**

**男子**

▼100m

小野　貴裕　　予　　11.29　-2.0

▼200m

西脇　友哉　　予　　22.72　±0.0

▼1500m

小柴　鷹介　　4.11.56

岡野　颯斗　　4.24.19

▼3000mSC

稲垣　達也　　決　　9.36.15

渡邊　康介　　決　　9.55.17　SB

▼走高跳

坂口　裕飛　　決6位 2.05　　CB

▼三段跳

伊東　悠希　　決　　14.07　+2.1

　　公認　　13.79　+0.9

▼十種競技

五十嵐隆皓　　5644　PB

11.80(+0.5) 6.21(+1.2) 8.08 1.80 51.93

16.61(-0.3) 23.51 3.60 37.15 4.40.11

平島　敬也　　5163

11.30(+0.4) 6.51(+0.4) 8.38 1.75 52.79

17.09(-0.9) 32.60 NM 44.60 5.37.16

**女子**

▼800m

西川　真悠　　予　　2.26.26　大学初

安藤　百香　　予　　2.31.69

**第85回兵庫県陸上競技選手権大会(ユニバー　7/7,16)**

▼400m

田中　達也　　ﾀ決　50.52

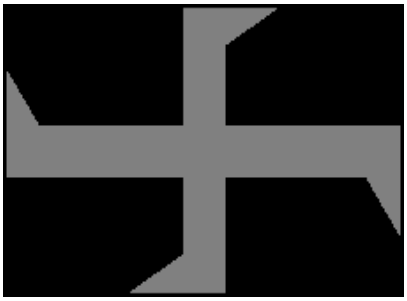
▼800m

中尾　友哉　　ﾀ決　1.58.74　大学新

田中　達也　　ﾀ決　1.59.60

▼5000m

柴田　裕平　　ﾀ決　15.29.70



蒼穹ニュース　平成30年度　第3号
平成30年7月22日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：宇佐美岳良・堀葉俊春・久田雅人（副務）
特別協力：秋本啓太・三田村侑紀・山口佳那子（学連員）
加藤寿昂・長谷川隼（記録係）・浅井良（HP 係）
写真担当：花房柚衣香・上島ほのか・岡本郁翔

陸上競技部 HP　http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/
陸上競技部記録 HP　http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku/index.htm
関西学連 HP　http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm
メールアドレス　strongthrowakiyama@gmail.com（堀葉）